

受賞名：読売新聞社賞

タイトル：私の大好きなおまわりさん

氏名：須鎗 杏実

小学校名：岡山県 和気町立佐伯小学校 六年

私の町のお巡りさんは、5年間、私の住む町で駐在をしてくれていました。そのお巡りさんは、いつも町内の見回りをしてくれていました。私が小学校に行くとき、集合場所に妹がついてきていたのですが、お巡りさんに会うと必ず手を振ったりしています。そしてお巡りさんは笑顔で手を挙げ、あいさつをしてくれています。妹はお巡りさんが大好きでした。お巡りさんに手を振りたいから早く準備などをして、毎朝楽しみにしていました。それで毎日手を振り続けました。

他にも、学校に来てくれて色々なことを教えてくれたりしました。お巡りさんの持っているものやベスト、仕事の内容を先生になって教えてくれました。私の町は事件もなく平和な町です。それはどうしてかという、お巡りさんがいつも近くにいてくれたからだと思います。私もそんなお巡りさんが大好きでした。けれど、今年お巡りさんが転勤すると聞いて心の中がビックリとさみしさでいっぱいでした。それで感謝の気持ちを伝えるためにお手紙を書こうと思いました。書いて渡しに行くと、引越しの用意をしていました。そうすると奥から奥さんとお巡りさんが出てこられました。奥さんが

「お巡りさんが毎日お巡りさんに手を振っている子がいるんだよ、その子に会いたいなと思っていたんです。転勤する前に会えてよかった。とっても会いたかった。」

と話してくれた。妹の事でした。お巡りさんが、奥さんにそんな話をしているとは思わなくて、ビックリしたのと、嬉しい気持ちでした。いなくなってしまうことはとっても悲しい気持ちです。

「またどこかで会いましょうね。」

と奥さんが言ってくれました。

そして、その思いは伝わったのです。今年、警察音楽隊が来てくれました。お巡りさんの転勤したところは音楽隊の指揮者さんです。生演奏などを聞くと、すごくキレイに聞こえて、感動しました。

演奏が終わると、学校のみんなで写真をとりに行きました。その時に妹からあずかっておいたお手紙を渡しました。妹の学年は、音楽隊の演奏を聞きに行けなかったからです。手紙を渡すと、お巡りさんは覚えていてくれました。私は会えて嬉しい思いでいっぱいでした。

席にはいっぱいの方がいました。やっぱりお巡りさんは人気なんだなと思いました。私は、また私の町に戻ってきてほしいと思ってましたが、指揮者をしているお巡りさんもとっても輝いて見えました。どこにいても輝くお巡りさんが大好きです。